

ワクチンの同時接種について



生後2ヶ月から6カ月ごろまで、そして1歳を過ぎたあたりでは、ワクチンラッシュになります。多すぎてどのようにワクチン接種を進めていけばよいか迷われている方も多いのではないかと思います。そんなときのひとつの解決法は、同時接種です。

同時接種は、同じ日に、同じ医療機関で複数のワクチンを接種することです。それぞれのワクチンは混合することができないので、例えば3種類のワクチンを接種する場合は3本注射をします。（ワクチンの同時接種は海外では日常的に行なわれており、欧米では生後2ヶ月時に6種類のワクチンの同時接種も行なっています。）

日本の予防接種ガイドラインでは「あらかじめ混合されていない2種類以上のワクチンについて、医師が必要と認めた場合には同時に接種を行なうことができる」と記載されており、日本小児科学会でも同時接種を積極的に勧めていく方針をとっています。

https://www.jpeds.or.jp/uploads/files/saisin_1101182.pdf

同時接種により、ワクチンの効果が弱まることはありません。また副反応の程度も単独接種に比べて増強することはないと言われています。副反応の可能性（頻度）は足し算になりますので単独接種よりやや多くなる可能性はありますが、多くの小児科医が単独接種と変わらないという印象をもっています。

また、同時接種でも副反応の多くは発熱や接種した部分の腫れなどで、重篤な合併症は増えません。

また同時接種できるワクチンの組み合わせは、現行の日本で行われている一般的な小児科で行なわれるワクチンであればどの組み合わせでも同時接種可能です。

1日で何種類ものワクチンを接種するのはお子さんの負担が大きいのではないかと考える方も多いと思いますが、大きな負担はなく安全に出来ると考えています。1日に複数回 針を刺すという負担はありますが、何回も来院してそのたびに痛い思いをするよりは1日で済ませる方がよいかもかもしれません。また来院回数を減らすことは、特に小さいお子さんにとっては人が多いところで余計な風邪をもらうリスクを減らすことになり、また親御さんにとっても外出の負担を減らすことにもなります。同時接種で規定の接種を早く終わらせることで早く免疫をつけられるというメリットもあります。お困り・お悩みの場合はぜひご相談ください。予防接種のスケジュールと一緒に検討しましょう。またどうしても同時接種への不安が残る場合は、単独接種でのスケジュールにも対応しますので、遠慮なくおっしゃってください。

医療法人社団めぐみ会

南大沢メディカルプラザ2 小児科



ふじい やすし
藤井 泰志 医師

日本小児科学会認定小児科専門医
東洋医学会漢方専門医

〒192-0364

東京都八王子市南大沢 2-25 フォレストモール南大沢 2F

TEL: 042-670-5922

<http://www.m-medicalplaza.com/s/>

